

# Intelligent Contact Management ( ICM ) ルータの再始動の後で耐久性がある可変値損失を解決して下さい

## 目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[問題](#)

[解決策](#)

[参照](#)

## 概要

この資料は Unified Contact Center Enterprise ( UCCE ) および Packaged Contact Center Enterprise ( PCCE ) 環境で耐久性がある可変設定の損失の問題を後 ICM ルータ再始動記述したものです。

ユーザ変数は IF ノードとテストすることができる一時記憶域として使用されるために作成されます。たとえば、ユーザ変数は IF ノードによって使用された文字列型の値のために一時記憶域として使用されるべき `userOpenHours` を呼出しました。

変数を定義した後、それから数式エディタを変数にアクセスするのに使用でき、あなたとして式でそれを、ちょうど参照することは組み込み変数と。

## 前提条件

次の項目に関する知識があることが推奨されます。

UCCE

PCCE

Windows Server 2012

使用するコンポーネント

UCCE 11.x

PCCE 11.x

Historical Data Server ( HDS )

## 問題

CCE 環境では、条件があります失われる耐久性がある可変値と関連している。これはもつとも

一般的な状態のリストであり、ソリューションは同一です:

1. 耐久性がある variable 設定し、チェック耐久性があるボックスはユーザー定義変数リストにあり、設定を保存します。しかし、耐久性があ変数 表からクエリを実行するとき、表は空です。
2. 耐久性がある変数の値の ICM ルータまたは exit\_router 原因損失の再始動。
3. 耐久性がある変数は HDS に複製しません。

The screenshot shows the 'User Variable List' interface. On the left, there is a 'Select filter data' section with 'Optional Filter' set to 'None', 'Condition' and 'Value (Case Sensitive)' dropdowns, and buttons for 'Save', 'Retrieve', and 'Cancel filter changes'. Below this is a table with columns 'Variable name' and 'Object type', showing one entry: 'userClosed - User Variable'. On the right, the 'Attributes' section is expanded, showing 'Variable name' as 'userClosed', 'Object type' as 'User Variable', 'Data type' as 'Long', 'Persistent' checked, and 'Description' as 'Check Closed Hours'. A red arrow points to the 'Persistent' checkbox.

## 解決策

固定変数は DB 表 ICM ルータに読むために後 ICM ルータ 再始動が再度ブートする書く必要がありました。

構成から。マネージャ ユーザー一覧 変数は、ボックスがチェックされる耐久性があるティックを確認します。これはデータベースに耐久性がある変数の値を書かれています確認します。

ただし、レジストリの後で動作を制御します。

二重にされた場合 ) 固定変数の相違を変更するために、ロガーのレジストリを変更して下さい ( Side A および Side B、 :

HKEY\_LOCAL\_MACHINE \ソフトウェア\シスコシステムズ、株式会社\ ICM \ instance\_name \ LoggerA \ロガー\ CurrentVersion \ HistoricalData \耐久性がある\変数

[Value] : データベースへの 1=Write 耐久性がある変数

0=Do 耐久性がある変数をデータベースに書かないため

さらに HDS の耐久性がある変数を複製したいと思う場合、各 HDS のレジストリを変更して下さい:

HKEY\_LOCAL\_MACHINE \ソフトウェア\シスコシステムズ、株式会社\ ICM \ instance\_name \ デイストリビューター\ RealTimeDistributor \ CurrentVersion \ロガー\ CurrentVersion \ HistoricalData \耐久性がある\変数

[Value] : HDS への 1=Enable 複製

HDS ( デフォルト値 ) に反復実験 0=Do

この動作は問題 [CSCug43282](#) で文書化されています。

## 参照

[http://www.cisco.com/c/en/us/td/docs/voice\\_ip\\_comm/cust\\_contact/contact\\_center/icm\\_enterprise/icm\\_enterprise\\_11\\_5\\_1/Reference/Guide/UCCE\\_BK\\_D563D6DB\\_00\\_db-schema-handbook/UCCE\\_BK\\_D563D6DB\\_00\\_db-schema-handbook\\_chapter\\_010.html#UCCE\\_RF\\_PAB332EF\\_00](http://www.cisco.com/c/en/us/td/docs/voice_ip_comm/cust_contact/contact_center/icm_enterprise/icm_enterprise_11_5_1/Reference/Guide/UCCE_BK_D563D6DB_00_db-schema-handbook/UCCE_BK_D563D6DB_00_db-schema-handbook_chapter_010.html#UCCE_RF_PAB332EF_00)